

News Release

2006年11月28日

東京ガス・エンジニアリング株式会社

「GeOAPTM (ジオープ)」住所文字列自動抽出機能を発表

東京ガス・エンジニアリング株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長 藤岡 治郎)は本日、オンデマンドGIS(Geographic Information System:地理情報システム)サービス「GeOAP (ジオープ)」の「住所文字列自動抽出機能」を発表しました。

「GeOAP」は、日本で初めてWebサービスとしてGISの機能をメソッド化したサービスです。当初より住所の緯度経度変換、地理情報の中の道路経路情報や最寄駅探索など、「テキストGIS」としての特徴を生かしてきました。この度の「住所文字列自動抽出機能」は、その特徴をさらに強調する機能です。

「住所文字列自動抽出機能」は、HTMLファイル、テキストファイルやCSVファイルの中の任意の文字列を解析し、住所文字列だけ抽出します。利用者は、この機能を使って所定のファイルから住所文字列だけ抽出して、簡単に緯度経度変換や地理的処理を実行できます。一回の処理で最大250個の住所文字列を抽出できます。

この機能は「GeOAP」ホームページ(<http://www.geoap.jp>)の「GeOAP体験」というデモンストレーションで試すことができます。URLを指定しそのHTMLファイルから住所文字列を抽出し、該当する住所を地図表示できます。

利用料金は月額で、12,600円(税込)から

※「GeOAP」は、東京ガス株式会社の登録商標です。

【お問い合わせ先】

東京ガス・エンジニアリング株式会社

営業本部開発営業部マッピンググループ

GeOAPサポート 柏木、伊藤、柴田、秋田 TEL: 03-5480-6818 E-mail: info@geoap.jp